

段階		研修番号	テーマ	目的	担当者	開催月	時間
レベルⅠ	看護実践	1	2年目：医療安全	医療安全の基本を再確認し、振り返りで気づきを深める。	新人教育担当	①6月2日、13日 ②11月21日、30日 ③2月5日、28日	90分
		2	2年目：感染管理	基礎的な知識・技術の継続的な維持と、様々な症例に対応するための応用力を身につける。	感染対策リソクナース	①6月2日、13日 ②11月21日、30日 ③2月5日、28日	90分
		3	2年目：看護倫理	倫理的視点を養い、日々の実践に活かせる能力を身につける。	専門看護師 認定看護師	11月21日、30日	90分
		4	2年目看護師 今、考える私の看護	レベルⅠとしての役割を果たしながら看護実践を行う中で、3年目になる前にもう一度「今考える。私の看護」のまとめを通して看護観や自己の課題を明確にする機会とする。	新人教育担当	3月第1金曜日 16:30提出	
		5	3年目 フィジカルアセスメント	日々の観察からアセスメントし、看護ケアへつなげるための知識を身につけ、実践で活用できる。自らのアセスメント能力を基盤に適切な指導の下、下位者のフィジカルアセスメント能力向上を支援する能力を養う。	認定看護師	8月4日、8日	90分
		6	3年目：医療安全	チームの一員として、自身と下位者の潜在リスクに気づき対応する力を身につける。	医療安全委員	①8月4日、8日 ②11月7日、29日	90分
		7	3年目：感染管理	様々な症例に対応するための応用力を身につける。	感染管理認定看護師	7月11日、18日	90分
		8	3年目：外来研修	入退院支援の一連の流れ、他部門の機能・役割を理解し、連携とは何かを知る。	診療部 地域連携室 入退院支援室	8月4日、8日	60分
	マネジメント	9	組織論Ⅰ	レベルⅠの役割概要を基盤に、病院及び看護部の理念、方針、目標、そして教育目的を理解し、自らが求められている役割を理解した上で、日々の看護実践で展開できる能力を養う。	看護師長	6月2日、13日	90分
	10	3年目：対人コミュニケーション	自らの役割に求められるコミュニケーションについて学び、組織の中で責任を果たすコミュニケーションスキルを身につけ、臨床で活用できる。	副看護部長	7月11日、18日	90分	
レベルⅡ	看護実践	11	感染管理	自身の傾向と所属部署の特徴を理解した上で適切な感染対策を実施、また他者への指導方法を身につける。	感染管理認定看護師	①8月23日、29日 ②11月6日、14日	90分
		12	医療安全	日々のリーダーとしてチーム内の潜在リスクに気づき対応する力を身につける	医療安全委員	①8月23日、29日 ②11月6日、14日	①90分 ②60分
	マネジメント	13	組織論Ⅱ ・リーダー育成 ・チーム医療	レベルⅡの役割概要を基盤に、固定チームナーシングにおける各役割について理解し、チームメンバーとして主体的に責任を果たす能力を養う。	看護師長	5月22日、31日	90分
	14	教育Ⅱ ①②③	部署内教育における基本的知識を習得し、自らが担う役割から下位者や学生に適切な指導を考える機会とする。	新人教育担当	①5月22日、31日 ②11月6日、14日 ③2月20日、29日 (7月) 7月のみ	各90分	
レベルⅢ	マネジメント	15	組織論Ⅲ ・部署で必要な管理	レベルⅢの役割概要を基盤に、自己の役割を再認識し、部署や委員会活動を担う意味を考え、柔軟に役割遂行ができる能力を養う。	副師長	5月16日	120分
		16	医療安全	複雑に変化する中で安全な看護を提供する為に、レベルⅢの役割を考え、安全な看護実践に繋げることが出来る。	医療安全委員	①6月5日 ②9月25日	①90分 ②60分
		17	教育Ⅲ (2回コース)	チームメンバーと共に考える教育的視点の重要性を理解した上で、他者に伝える能力を高め、よりよい看護実践に繋げる。 ※レベルⅢを取得後3年以上経過し、医療安全研修に参加されていない方対象	現任教育委員	①8月28日 ②10月17日	①120分 ②90分
レベルⅣ	看護実践	18	医療安全	レベルⅣの役割を基盤に自部署のインシデントの背景や要因から課題を抽出し、安全な看護実践に繋げることができる。	医療安全委員	①8月28日 ②10月31日	①120分 ②90分
役割別	サポート	19	サポートナース養成	新人看護師教育体制について理解し、新人看護師のリアリティショックを最小限に留め、新人看護師が成長できる基盤を作ることができる。	新人教育担当 副師長2名	4月17日、21日	120分
		20	サポートナース情報交換会 ①②	①サポートナースが互いに情報交換することで悩みを共有し、自分の問題解決の糸口が見出せる。 ②サポートナースの役割を通し、自己の成長に気づくと共に、楽しみながら役割が遂行できる。	新人教育担当	①8月4日、8日 ②1月16日、29日	各90分
	ブリセプター	21	新人看護師実地指導者養成	新人看護職員研修の必要性を理解し、看護技術・対人関係・医療や看護サービスを提供する仕組みなどを身につけ、実践に活用できる指導者を養成する。 また、新人看護師実地指導者として看護部・各部署の新人教育計画を理解し、参画できるようにする。	新人教育担当	3月4日、19日	90分×2 コマ
		22	看護過程の展開	受け持ち看護師の看護過程を基盤に、適切な記録を記載する知識を再確認し、下位者への指導的視点を養う。	記録委員	8月23日、29日	90分
	実習指導者	23	臨地実習指導者養成Ⅰ レベルⅡ相当	臨地実習指導に必要な基本的知識を理解し、ラダーレベルの役割に応じた学生支援ができる看護師を育成する。	臨地実習指導者	12月4日	120分
24		臨地実習指導者養成Ⅱ レベルⅢ～Ⅳ	臨地実習指導に必要な基本的知識を理解し、ラダーレベルの役割に応じた学生支援ができる看護師を育成する。	臨地実習指導者	①6月29日 ②9月4日	①60分 ②60分	

段階		研修番号	テーマ	目的	担当者	開催月	時間
トビックス	(時間内) 看護実践	25	IVナース 2022年度 IVナース修了者	静脈注射実践能力の能力を高めるとともに、下位者指導ができる能力を発揮できる上級看護師を育成する。 ※研修後、新人静脈注射の研修企画、運営と部署内教育を担う	現任教育委員	成果報告会 9月12日 最終報告会 2月予定	120分
		26	2023年度IVナース	静脈注射実践能力の能力を高めるとともに、下位者指導ができる能力を発揮できる上級看護師を育成する。 ※研修後、新人静脈注射の研修企画、運営と部署内教育を担う	現任教育委員	1月30日、31日	2日間
		27	ACLS指導者研修 (2回コース) CPRナースを取得している看護師	1.JRCガイドラインに基づいた救急蘇生法を理解し、正しい知識・技術を習得できる。 2. CPRナース取得者の継続的な育成ができ、根拠のある質の高い心肺蘇生法が実施できる。 3. 他者への実践指導ができる。	2020年度、2021年度研修終了者	基礎編 6月28日 実践編 7月3日	各90分～ 120分
		28	認知症看護	診療報酬に関わる認知症関連研修として開催 「病院勤務の医療従事者向け認知症体力向上研修」	認知症看護認定看護師	8月以降	90分
	(時間外) 教育	29	ケースレポートの書き方	ケースレポートの書き方の基礎を学ぶ。	副看護部長	8月以降未定×2回	各90分
		30	ケースレポートの指導	ケースレポートの指導のポイントを知る	副看護部長	9月以降未定×2回	各90分

段階	テーマ	ねらい	開催日	時間
看護師研修会	看護師研修会	最新の看護・医療知識を導入し、看護サービスの向上を図るとともに一般教養を深め人間的、社会的視野を広める。	年間計画に沿って実施	90分～ 120分
領域別	専門看護師、認定看護師	専門看護師・認定看護師が中心となり、専門領域における最新の知識・技術を提供することで、日常の看護ケアに活かすヒントを得る。	年間計画に沿って実施	各60分
看護補助者	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間課題、行動目標発表</li> <li>倫理的配慮、感染防止</li> <li>日常生活援助技術</li> <li>年間課題、行動目標評価</li> </ul>	看護チームの中での役割を認識するとともに、看護師の指導を受けながら適切な患者サービスが提供できる。	第4水曜日 /各月	60分
看護管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>①看護管理</li> <li>②目標管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①看護管理者としての自己を振り返り、役割を発揮できる能力を身につける。</li> <li>②今年度の目標の振り返りを師長・副師長が共有し、他部署の成果評価を参考に次年度へ繋げる。次年度の看護部方針を聞き、部署の目標管理ができる。</li> </ul>	年間計画に沿って実施	